

# 2012（平成24）年度 事業実施報告

## 1. 展示事業

### (1) 常設展示等

展示室A（大阪空襲と人々の生活）、展示室B（15年戦争）、展示室C（平和の希求）、映像コーナー、図書室の運営、定時映画の上映（講堂）

### (2) 特別展示

当館の所蔵資料を活用して特別展を実施した。

#### 「ピースおおさか収蔵品展」Ⅰ～Ⅲ

〈趣 旨〉 市民から寄贈された数多くの当館収蔵品は、“物言わぬ語り部”。昭和初期の激動の時代から大戦末期の空襲に至るまでの“モノ語り”について展示することにより、戦争の時代について考え、戦争の愚かしさを考える機会として開催した。

〈期 間〉 Ⅰ：（1月15日（日））～7月17日（火）（参加者：29,799名）  
Ⅱ：8月1日（水）～12月25日（火）（参加者：40,316名）  
Ⅲ：2013（平成25）年1月15日（火）～3月31日（日）  
（参加者：14,881名）

〈内 容〉 収蔵品（実物、写真、地図、絵画、映像など）約150点

〈参加者〉 55,197名

### (3) その他の展示

#### ① 講堂内展示

・「昭和の子どもたち」（内藤磯美氏）

#### ② 展示室C「世界は今コーナー」

・世界の紛争地等の写真パネルの展示

## 2. 企画事業

### (1) 平和祈念事業

8・15 終戦の日、12・8 開戦の日、3・13 大阪大空襲の日など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて改めて考える機会として開催した。

#### ① 終戦の日平和祈念事業

##### ❶ 「講演会と歌で検証する戦争と平和」

・日 時 8月4日（土） 午後1時30分～4時

・内 容

第1部：基調講演と対談

基調講演 モンテ・カセム氏

(立命館大学国際平和ミュージアム館長)

対 談 モンテ・カセム氏、もず唱平(当財団理事)

第2部：歌のステージ

高橋樺子氏(歌)、田中裕子氏(ピアノ)

・参加者 153名

② 「ヒロシマを忘れない～証言と紙芝居『はだしのゲン』」

・日 時 8月5日(日) 午後1時30分～4時

・内 容

証 言：高木静子氏(大阪市原爆被害者の会事務局長)

紙芝居：青空みかん氏(紙芝居文化の会)

・参加者 103名

③ 「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・日 時 8月15日(水)

・内 容

・「平和コンサート」午後2時～3時30分

相愛大学OB(「DOLCE」、相愛高校(音楽科有志)・大阪女学院中学校の生徒による平和コンサート

参加者 151名

・「昇鶴祭」午後3時30分～6時30分

・「キャンドルナイト」午後7時～8時

参加者 600名

② 開館の日平和祈念事業

「知っていますか？十六地蔵の悲劇」

・日 時 9月15日(土) 午後1時30分～4時

・内 容

講 演：「十六地蔵の悲劇が意味するもの」

奥村誠一氏(国民学校と学童疎開を考える会 理事長)

シンポジウム

司会：赤塚康雄氏(アニメ「十六地蔵物語」監修者)

・基調講演 どのようにして「十六地蔵物語」はできたのか

原田一美氏(「十六地蔵物語」原作者)

・南恩加島小学校のモニュメントについて

白川洋二氏(元南恩加島小学校教員)

パネラー 奥田継夫氏(国民学校と学童疎開を考える会 会長)

米倉澄子氏(国民学校と学童疎開を考える会 理事)

ほか

・参加者 147人

### ③ 開戦の日平和祈念事業

「講演会と歌で検証する戦争と平和」

・日 時 12月9日(日) 午後1時30分～4時

・内 容

第1部：講演 「三畳小屋の伝言 ～陸軍大将今村均の戦後」

講師 朝野富三氏（宝塚大学教授）

第2部：歌のステージ

高橋樺子氏(歌)、田中裕子氏(ピアノ)

・参加者 182名

### ④ 大阪大空襲平和祈念事業

#### ① 「忘れない！ あの日のこと ～空襲写真を検証する～」

・日 時 2013(平成25)年3月3日(日)

午後1時30分～4時

・内 容

第1部：幻の卒業式

第2部：「空襲被災写真から検証する大阪・堺・豊中市の空襲」

基調講演 小田康徳氏（大阪電気通信大学教授）

講演 水知悠之介氏

（特定非営利活動法人なにわ堀江1500 代表）

網信二氏

能登宏之氏（梅花女子大学特任教授）ほか

・参加者 122名

#### ② 「今、語り、知り、学ぼう ～二度と戦争をくり返さぬために～ 「語り継ぎ部」

育成のための交流会」

・日 時 2013(平成25)年3月14日(木)

午後1時30分～4時

・内 容

全11団体によるプレゼンテーションほか

・参加者 120名

### (2) 東日本大震災復興支援事業—平和の歌声 カラオケ道場—

・日 時 9月29日(土)、10月13日(土)、11月17日(土)

12月22日(土)、1月19日(土)、2月16日(土)、3月30日(土)

午後1時30分～4時

- ・道 場 主 もず唱平（当財団理事）
- 師 範 代 高橋樺子氏、鳴門家寿美若氏
- ゲスト審査委員 三山 敏氏
- ・参 加 者 1, 289名

### (3)教員のための平和学習講座

- ・日 時 8月2日(木) 午前10時～午後4時
- ・内 容 講義とフィールドワーク（館内及び大阪城周辺の戦跡）
- ・講 師 小田康徳氏（大阪電気通信大学教授）  
常本 一（当財団専門職員）
- ・参 加 者 17名（小5 中6 高2 支援4）

### (4)戦跡ウォーク

- ・日 時 4月～3月（毎月第2日曜日、8月・9月・12月・3月は除く）
- ・内 容 館内見学（展示室A、B、C）と大阪城周辺に残る戦跡を巡る3コース（中回り・東回り・西回り）
- ・案 内 人 常本 一（当財団専門職員）
- ・参 加 者 162名（8回）

### (5)ウィークエンド・シネマ

- ・日 時 毎週土曜日 午後2時～（4月～11月）
- ・内 容 当館所蔵の視聴覚資料(ビデオ・DVD・16ミリ)を活用し、映画会を開催
- ・参 加 者 1,708名（39回）

### (6) 親子祭り

#### ①ゴールデンウィーク

- ・日 時 5月1日(火)～4日(金)、6日(日)
- ・内 容 アニメ映画「つるにのって」、ドキュメンタリー映画「北極のナヌー」
- ・参 加 者 216名（5回）

#### ② 夏休み

- ・日 時 7月22日(日)～8月30日(木)
- ・内 容 アニメ映画や紙芝居等
- ・参 加 者 679名（25回）

#### ③ 冬休み

- ・日 時 12月23日(日)、25日(火)～27日(木)
- ・内 容 アニメ映画や紙芝居等
- ・参 加 者 49名（4回）

#### ④ 春休み

- ・日 時 3月22日(金)～29日(金)、4月3日(水)～7日(日)
- ・内 容 アニメ映画
- ・参加者 79名(10回)

#### (7)平和紙芝居

- ・日 時 第1土曜日 午後1時～1時20分  
第2木曜日 午前10時～10時20分  
第3金曜日 午後1時30分～1時50分
- ・参加者 1,058名(35回)

#### (8)府政学習会・ピースおおさか見学会「平和について学ぶ」

(大阪府府政情報室との連携事業)

- ・参加団体 5団体
- ・参加者 335人

### 3. 出前事業

#### (1)展示

##### ① 御津八幡宮夏祭り

- ・日 時：7月14日(土)～15日(日)
- ・場 所：御津八幡宮
- ・内 容：パネル展示(10枚)、パンフレットの配布等
- ・参加者：12,000名

##### ② 大阪あきない祭り

- ・日 時：10月7日(日)～8日(祝)
- ・場 所：史跡難波宮跡・大阪城天守閣前広場
- ・内 容：パネルと実物資料展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：15,000名

##### ③ アクティブシニアフェア

- ・日 時：2013(平成25)年2月25日(月)
- ・場 所：吹田市文化会館「メイシアター」
- ・内 容：パネルと実物資料展示、パンフレットの配布、グッズ販売等

- ・参加者：2,160名

#### (2)企画事業

- ・日 時：2013(平成25)年7月8日(日)
- ・場 所：仙台市戦災復興記念館
- ・内 容

- 「歌による女の昭和戦記」  
 講演：もず唱平（当財団理事）  
 歌と語りなど：高橋樺子氏  
 ・参加者：150人

#### 4. その他の事業

##### (1) 戦争と平和の語り部教室「親子de戦跡ウォーク」

（大阪府「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」難波宮公園周辺施設で「子ども教室モデル事業」の一環として開催）

- ・日時 12月8日(土) 午前10時～午後4時
- ・内容 難波宮周辺の戦跡フィールドワークと館内見学
- ・参加者 28名

##### (2) その他事業

「北朝鮮人権侵害問題啓発」

<政府拉致問題対策本部・大阪府・府内全市町村主催、ピースおおさか協力>

- ・内容
  - ① パネル展示 12月9日(日)～16日(日)
  - ② 映画上映等
    - ・映画 12月16日(日) 午前10時～午後12時10分
      - ・映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
      - ・アニメ「めぐみ」
    - ・映画上映・取組み報告 12月16日(日) 午後1時30分～午後3時15分
      - ・政府の取組み報告
      - ・映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」
  - ・参加者 310人

#### 5. 資料の収集・提供

##### (1) 資料の収集・提供

「図書類及び物品類の管理等の基準」に基づき、実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、収蔵資料の充実を図った。また、「収蔵品管理システム」により、これらの資料の整理、保存等を行った。

《資料収集件数》

	寄贈資料	購入資料
実物資料	144	0
視聴覚資料	19	17
文書資料	63	0
図書資料	277	50
計	503件	67件

【平成 22・23 年度】

	寄贈資料	購入資料
22 年度	192 件	68 件
23 年度	155 件	25 件

(2) 平和学習資料の貸出し

学校、官公署、市民団体等に、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD、16ミリフィルム等)の貸出しを行った。

《資料貸出件数》

	小学校	中学校	高 校	自治体	その他	計	利用人数※
写真パネル(体験画含む)	16	11	3	31	16	77	
16ミリ(アニメ)	0	0	0	1	1	2	
16ミリ(ドキュメント)	0	0	0	1	2	3	
ビ デ オ	38	44	6	10	20	118	
D V D	65	57	2	15	31	170	
紙 芝 居	4	1	0	2	7	14	
合 計	123	113	11	60	77	384	

【利用人数】115,674 人

※複数の種別の資料を同時に貸し出す場合があるため、資料種別ごとの利用人数はカウント不可。

(参考) 22年度利用人数 90,087 人、23年度利用人数 75,864 人

6. 広報・啓発

(1) ホームページの運営

「ピースおおさかホームページ」により施設利用案内や事業広報等の情報提供を行った。

- ・アクセス数：70,798 回（内、日本は 69,425 回）

(2) 印刷物の作成・配布

- ①リーフレット「展示のしおり」（日本語版、英語版、中国語版、ハングル版）
- ②館報「ピースおおさか」第 43 号の発行  
（12月25日発行 5,900部 関係機関・団体に配布）

## 7. 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場の運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行うとともに、大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行った。

### (1) 空襲死没者名簿(原簿)の管理

- ・追加登載者数 2名
- ・登載者数計 9,050名(平成25年3月31日現在)  
(内訳) 公開9,004名※、非公開46名  
※展示室A内で公開

### (2) 「刻の庭」の維持管理

ドーム・鐘・植栽等の維持管理。

## 8. 「ピースおおさか友の会」入会状況

- ・個人会員：195名
- ・団体会員：17団体(48口)